

けみかわの宮

第 114 号

平成30年 5月 1日発行

下総之國 検見川神社々務所
神祇三社

〒262-0023

千葉市花見川区検見川町1-1

TEL 043 (273) 0001代

FAX 043 (273) 0002



夏越大祓式並大祓祈願祭 茅の輪くぐりのご案内

六月三十日(土)、午後三時より当神社において、夏越大祓式並大祓祈願祭が斎行されます。

大祓は毎年六月と十二月の末日の年二回、行われる祓いの神事で、半年の間に知らず知らずのうちに身についた罪穢を紙の人形に移し、これを流し消すと共に、切麻で心身を祓い清め、向う半年間を健やかに生き生きと過ごせるよう願う神事です。とくに六月の夏越大祓では夏に流行する疫病を免れるとの故事にならい疫病除・災難除を願う茅の輪くぐりが併せて行われます。

当日は、東参道にて大祓式を執り行ない、その後、大前に設置された茅の輪を参列者全員でくぐり、拜殿に進み大祓祈願祭にご参列いただきます。

大祓の受付は五月二十五日(金)より、社務所にて随時申し受けます。

皆様どうぞご参列下さいませよう。ご案内申し上げます。

(次頁に茅の輪のくぐり方が掲載されています)

水無月の
夏越の祓する人は
千歳の命延ぶといふなり

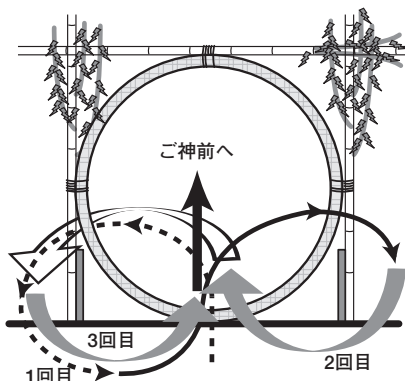
人形記入例

ひな人形

氏名 検見川 太郎
(生年月日) 平成〇〇年〇月〇日

茅の輪のくぐり方

大祓式は六月三十日の夏越大祓式と、十二月三十一日に行われる師走大祓式と年二回斎行されますが、どちらかというと、夏越大祓式の方が重要視されてきています。これは、昔はこの夏越の時期に疫病が流行し人々を苦しめたからといわれ、本来の心身の清浄を求める神事に悪疫病魔を祓い除きたいという人々の切実な願いが重ねられていくからです。夏越の大祓式に茅の輪くぐりが行われるのもこのためといわれています。



先ず左廻り、次に右廻り、そして最後にもう一度左廻り

授与品紹介

当神社では、四月より十月下旬までちまき守を頒布致しております。

夏越大祓式の茅の輪くぐり同様「茅」に由来するこのお守は家の門口につき、一年間お祀りすることにより、疫病・災難から家を守り様々な厄難消除にご利益あるお守です。

授与所に備えてありますのでお気軽にお求め下さい。



初穂料 千円

|| ちまき守 ||

蘇民将来の説話

昔、南国の山中で一人の旅人が道に迷い、日が暮れたので一夜の宿を求めた。旅人がお腹を空かせて山中をさまよっているうちに、一軒の豪邸が目の前に現われた。喜んだ旅人はさっそくその家の主人に事情を話し、一夜の宿と簡単な食事を求めた。

ところが主人は、どの馬の骨とも分らない人間を泊める部屋もなければ、食料もないと言つて無下に断り、旅人を追い払った。主人の名を「巨旦将来」といい、大富豪でありながらケチで有名な人物であった。

途方に暮れた旅人が再び山中をさまよっていると、今度は、とても貧しそうなお家の前に出た。旅人は疲労と空腹で二歩も動くことができなかった。で、駄目だ元々と思いつつ戸口を叩いた。すると、中からみずほらしい姿の男が出て来て、旅人を家へ招き入れた。そして自

分の夕食に用意してあった粗末な食事を旅人に与え、藁で寝床を作つて旅人を泊めたのである。

このあばら家の主人の名を「蘇民将来」といい、実は旅人を追い払った富豪の巨旦将来の弟であった。そして蘇民将来はとても貧しいが正直でたいへん優しい心の持ち主だったのである。

翌朝、旅人は蘇民将来に丁重にお礼を述べ「茅」で作った輪を手渡した。そしてその輪を肌身離さず持つていけば疫病にかかるとはしないと断つて立ち去つていった。

実はこの旅人の正体は素盞鳴尊(検見川神社御祭神)で素盞鳴尊は牛頭天王ともいい、疫病を司る神でもあります。そして疫病神でもある素盞鳴尊を丁重にもてなした蘇民将来は疫病にかかるとなく、幸せに生涯を送ることができた。いっぽう、冷たくあしらった兄の巨旦将来は間もなく疫病にかかり、死んでしまったという。

四月・六月の末社例祭斎行

検見川神社には、御本殿の他に境内の中に全部で九社の末社が祀られています。そのうち四月から六月にかけて左記の五社の例祭が執り行われます。

四月九日(月)……古峯神社

四月十九日(木)……三峯神社

五月十九日(土)……

五月二十九日(火)……江戸湾金刀比羅宮

六月九日(土)……市神之神

以下、それぞれの神社の御祭神、御神徳、当境内に祀られたいわれ等について順にご紹介致します。

☆古峯神社 (寄宮社右隣)



御祭神 日本武尊
御神徳 勝負事、開運招福

古峯神社の本宮は栃木県鹿沼市に鎮座し、第十二代景行天皇の皇子日本武尊を御祭神とする神社です。その由緒としては、上代期に力を有した藤原氏が奈良時代初期に尊を崇敬し、白鳥御陵(日本武尊の陵)より御分霊を授かり奉祀したのが創祀とされています。境内の末社創祀は不明ですが、現在の祠には昭和三年十一月十日再建と刻字されています。

☆三峯神社 (寄宮社左隣)



御祭神 三峯大神
御神徳 盗難除

検見川の町には「三峯神社」と称されている神社が四社あります。このうち一丁目石川講(講團)の三峯神社が昭和四十五年

当神社境内に遷座されました。

本宮は埼玉県秩父郡に鎮座し、秩父山中に棲息する山犬(狼)を神様のお使いとして崇め、盗難・災難から守る神社として崇敬されています。

☆江戸湾金刀比羅宮 (寄宮社一番奥)

御祭神 金刀比羅大神

御神徳 海上航海・漁業安全
本宮は香川県仲多度郡に鎮座し、ひろく「こんぴらさん」と呼ばれ親しまれています。この地に祀られたのは、検見川の地が昔「打瀬船」(打瀬網漁業に使用された船)が出入りする江戸湾(東京湾)で最も大きな港であったため、航海・漁業の守護神として祀られたとされています。

☆浅間神社 (大前御神水の奥)

御祭神 浅間大神

(木花開那姫命)

御神徳 子育て・子守りの神
様とされています。前述の金刀比羅宮が海を祀る神に対し、浅間神社は山を祀る神として、遠くに眺む富士山に昔の人達は憧憬・畏怖とともにあつい信仰心をいだいていたと思われます。

☆市神之神 (表参道階段右下)

御祭神 夷神

御神徳 商売繁昌

検見川のこの地には、昔「九」のつく日に市が立ち大変賑わった歴史があります。その市の商売繁昌を祈って祀られたのが夷神です。又鳥居の近くに祀られているのは、夷神が境界神つまり「境の神」としての御神徳も併せて有しており、神社の聖域を守る守護神的性格もあるとされています。

五月・六月祭典行事

五月

四日 緑樹祭
五日 端午祭

春季講社祭

十九日 末社金刀比羅神社例祭

二十六日 植樹祭

二十九日 末社浅間神社例祭

六月

九日 末社市神之神例祭
三十日 夏越大祓式

並大祓祈願祭

毎月一・十五日 月次祭

毎月二十九日 交通安全祈願祭

神社の種類とご祭神等

種類・数 ※－1 ※－2	①総本社 ②ご祭神 ③ご利益等
八幡信仰 7817 社	①宇佐神宮（石清水八幡宮、鶴岡八幡宮） ②応神天皇、神功皇后 ③武芸、勝負の神様
伊勢信仰 4425 社	①伊勢神宮 ②天照大神 ③日本の総氏神、満願成就
天神信仰 3953 社	①大宰府天満宮（北野天満宮） ②菅原道真 ③学問の神様、天災除の神
稲荷信仰 2970 社	①伏見稲荷大社 ②ウカノミタマノカミ ③五穀豊穰、商売繁昌、病氣平癒
熊野信仰 2693 社	①熊野本宮大社（及び、速玉、那智） ②イザナミノミコト ③生命を司る神様、無病息災、縁結び等
諏訪信仰 2619 社	①諏訪大社 ②タケミナカタノカミ ③農耕、開運、家内安全等
祇園信仰 2299 社	①京都八坂神社 ②スサノヲノミコト ③厄除の神様、暦の神様

※－1 種類はこの他、春日、浅間、白山、住吉、日吉等多くある

※－2 上記の種類、数は、文化庁宗教統計調査。数については摂社、末社、分祀などを集めると大幅に変動する(例：稲荷は 32000 社、八幡 2500 社、天神 10000 社等)

神社の種類とその数

全国の神社の数は、神社本庁管轄下の神社だけでも八万数千社、その他別格の伊勢神宮、神社本庁に属さない単立神社も含めると、約十萬社と数多くあります。

また、神社の種類で分けてみると、①社号による種類（神宮、○○神宮、○○宮、○○大神宮、○○大社、○○神社、○○社）。②成り立ちによる種類（勧請社、御霊社、民間信仰、護國神社）。

③御祭神による種類に分けられます。この中でもご利益などで馴染みやすい分類はご祭神による種類でしょう。以下、ご祭神による分類で数の多いものや、歴史的に重要で有名な神社をいくつか信仰別にグループ分けして左記にご紹介致します。

（神道事典等より）

植樹祭

五月二十六日(土)午後二時

日頃皆様からご協力いただきました献木の御奉賛により来たる五月二十六日午後二時より当神社において第十八回目の植樹祭を肅行いたします。

当神社の植樹祭は、毎年天皇皇后両陛下ご臨席のもとこの時期に行われる全国植樹祭にあわせて執り行われます。（今年の全国植樹祭は六月十日に福島県南相馬市にて行われます。）

植樹祭は、毎年御神域に相応しい樹木を境内に植栽し、樹木の無事なる成長と、植樹に関わる皆様のご多幸と弥栄をお祈りする祭典です。

当神社では植栽された樹木を大切に育成し、鎮守の杜の保護に努め、ご参拝の皆様は心の安らぎを感じていただけるよう環境づくりを進めてまいり所存です。

今後とも献木の趣意をご理解いただきまして、ご奉賛賜りますようお願い申し上げます。

献木のご案内

一口 伍阡円以上思召

御申込は社務所にて随時承ります

五 黄 土 星	六 白 金 星	七 赤 金 星	八 白 土 星	九 星
数え 96歳 1923年 大正12年生	数え 97歳 1922年 大正11年生	数え 98歳 1921年 大正10年生	数え 99歳 1920年 大正 9 年生	平成三十年各人数え年・生年・干支・九星早見表 五月の運勢〔丁巳 二黒土星の月〕 五月五日より六月五日迄 六月の運勢〔戌 牛 一白水星の月〕 六月六日より七月五日迄
数え 87歳 1932年 昭和 7 年生	数え 88歳 1931年 昭和 6 年生	数え 89歳 1930年 昭和 5 年生	数え 90歳 1929年 昭和 4 年生	
数え 78歳 1941年 昭和16年生	数え 79歳 1940年 昭和15年生	数え 80歳 1939年 昭和14年生	数え 81歳 1938年 昭和13年生	
数え 69歳 1950年 昭和25年生	数え 70歳 1949年 昭和24年生	数え 71歳 1948年 昭和23年生	数え 72歳 1947年 昭和22年生	
数え 60歳 1959年 昭和34年生	数え 61歳 1958年 昭和33年生	数え 62歳 1957年 昭和32年生	数え 63歳 1956年 昭和31年生	
数え 51歳 1968年 昭和43年生	数え 52歳 1967年 昭和42年生	数え 53歳 1966年 昭和41年生	数え 54歳 1965年 昭和40年生	
数え 42歳 1977年 昭和52年生	数え 43歳 1976年 昭和51年生	数え 44歳 1975年 昭和50年生	数え 45歳 1974年 昭和49年生	
数え 33歳 1986年 昭和61年生	数え 34歳 1985年 昭和60年生	数え 35歳 1984年 昭和59年生	数え 36歳 1983年 昭和58年生	
数え 24歳 1995年 平成 7 年生	数え 25歳 1994年 平成 6 年生	数え 26歳 1993年 平成 5 年生	数え 27歳 1992年 平成 4 年生	
数え 15歳 2004年 平成16年生	数え 16歳 2003年 平成15年生	数え 17歳 2002年 平成14年生	数え 18歳 2001年 平成13年生	
数え 6歳 2013年 平成25年生	数え 7歳 2012年 平成24年生	数え 8歳 2011年 平成23年生	数え 9歳 2010年 平成22年生	
周りの事に目が向きやすく、あれやこれやと手を出したくなりますが、本業に専念して。特に転業・転職等の話が舞い込んできても、すぐに飛びつかないで良く考えてから判断を。	明るい運氣とはいえ動きがぎこちなく、一進一退をくり返しやすいため、何事も焦らず冷静に。焦れば焦るほど、見えるものも見えなくなつて折角のチャンスを掴めない恐れあり。	天運の薄い上に自力の足りない時なので新規事や拡張等に手を出す事よりも本業に専念を。多方面に手を出すこととまともにくくなる。今は力をまとめて、集中力を高め大いに励んで。	運休状態になりやすいからよく考えて行動して下さい。物事の動きが鈍くイライラしますが、感情的にならず平静を保って。短気を起こして勢いよく飛び出すとぶつかる恐れあり。	
表面的には明るく見えますが、内実の伴わない暗示があるから、十二分に気をつけて行動して下さい。見栄を張って上辺のみ飾ってはがれる恐れあり。今は、内容の充実に努めて。	物事が思うように運ばない運氣となりそうなので、じっくりゆっくり丁寧に歩む事。急がば回れで、危険な近道よりも、遠くとも安全な本道を通るように心掛けて。着実に開運の基。	起伏が少なく物足りない気がしますが、先に希望の扉が見えるので諦めず腐らず漸進して近づいて。刺激が少ないからといって、大きく掴もうとすると、破運を招く。控えめが吉。	蓄えてきた力をいよいよ発散する運氣となりそうです。新規事・拡張事等は、よい出発となるでしょう。思った以上に良い運氣なので、堅実着実な努力を続けてチャンスをつかんで。	

五月・六月の運勢

〔注意〕

各人の満年齢は、左記の数え年から、各人本人の誕生日前には二歳、誕生日以後には一歳を差し引けば得られる。アラビア数字は、ことしの誕生日以後の満年齢である。子・辰・申の年は閏年となる。

九 紫 火 星	一 白 水 星	二 黒 土 星	三 碧 木 星	四 緑 木 星
数え 91歳 1928年 昭和 3 年生	数え 92歳 1927年 昭和 2 年生	数え 93歳 1926年 昭和元年生	数え 94歳 1925年 大正14年生	数え 95歳 1924年 大正13年生
数え 82歳 1937年 昭和12年生	数え 83歳 1936年 昭和11年生	数え 84歳 1935年 昭和10年生	数え 85歳 1934年 昭和 9 年生	数え 86歳 1933年 昭和 8 年生
数え 73歳 1946年 昭和21年生	数え 74歳 1945年 昭和20年生	数え 75歳 1944年 昭和19年生	数え 76歳 1943年 昭和18年生	数え 77歳 1942年 昭和17年生
数え 64歳 1955年 昭和30年生	数え 65歳 1954年 昭和29年生	数え 66歳 1953年 昭和28年生	数え 67歳 1952年 昭和27年生	数え 68歳 1951年 昭和26年生
数え 55歳 1964年 昭和39年生	数え 56歳 1963年 昭和38年生	数え 57歳 1962年 昭和37年生	数え 58歳 1961年 昭和36年生	数え 59歳 1960年 昭和35年生
数え 46歳 1973年 昭和48年生	数え 47歳 1972年 昭和47年生	数え 48歳 1971年 昭和46年生	数え 49歳 1970年 昭和45年生	数え 50歳 1969年 昭和44年生
数え 37歳 1982年 昭和57年生	数え 38歳 1981年 昭和56年生	数え 39歳 1980年 昭和55年生	数え 40歳 1979年 昭和54年生	数え 41歳 1978年 昭和53年生
数え 28歳 1991年 平成 3 年生	数え 29歳 1990年 平成 2 年生	数え 30歳 1989年 平成元年生	数え 31歳 1988年 昭和63年生	数え 32歳 1987年 昭和62年生
数え 19歳 2000年 平成12年生	数え 20歳 1999年 平成11年生	数え 21歳 1998年 平成10年生	数え 22歳 1997年 平成 9 年生	数え 23歳 1996年 平成 8 年生
数え 10歳 2009年 平成21年生	数え 11歳 2008年 平成20年生	数え 12歳 2007年 平成19年生	数え 13歳 2006年 平成18年生	数え 14歳 2005年 平成17年生
数え 1歳 2018年 平成30年生	数え 2歳 2017年 平成29年生	数え 3歳 2016年 平成28年生	数え 4歳 2015年 平成27年生	数え 5歳 2014年 平成26年生
もやがなくスッキリして、順調に動き出しますが、今までの分をとり戻そうと、一気にかけて出すと転倒するので、十分に注意。急進・猛進は吉意を減らす。慎重な歩みが大事。	追い風を得た小舟の様な運気で物事がスラスラ運びそうですが油断は禁物。事業等も交渉事が順調に進み契約寸前までいくのであと一押しを。詰めが甘いと、流れが変わるから注意。	あれこれと手を出したくなりますが、よく考えて行動して下さい。色々興味を持つ事は良い事とはいえ、抜け過ぎると集中力が薄れて総て中途半端になりやすいので的を絞って。	精神的にも、経済的にも安定を得られ、気分的に落ち着きそうです。もっと前へもつと前へと行きたい気持ちにはわかりますが、現状維持が良策。余った力は更なる基礎固めに用いて。	思いの外実利が得られる月ですが、あまり長続きしないから無駄使いせず蓄えるように心掛けて。よく見せようと見栄を張ると赤字先行する。表面ばかりではなく中身の充実が大事。
以前に、蒔いた種が実を結び、ひとつのかたちとして表れそうです。思いがけない喜び事があるって、ウキウキしますが、あまり調子に乗らないように。独身者は、良い縁に恵まれる。	色々身の回りに集まってきて、ウキウキワクワクしますが慎重に歩んで。中にはあまり良くない物も混ざっているから必要な物だけを選んで。焦って選び方を間違えると損失に。	運氣充実して経済的に安定します。職場等でも信用されて責任のある仕事をまかされるので努力を重ねて乗り切って。但し、ストレスが溜まりやすいから、健康管理はしっかりと。	無理をしなければ、なんとか結果が得られる月なので、此の点をよく考えて歩んで。焦って結果を求めても、あまりよくないので、ゆっくり時間をかけて。短気を起こせば損気に。	変化・変動が多くなりそうです。転業・転職の話が舞い込んできますが即断・即決せずよく考えて。大切な事なので軽はずみな行動は禁物。甘い話、おいしい話には乗らない様に。



神楽老翁悪神祓の舞

検見川神社神楽囃子連

三月十一日(日)千葉市若葉文化ホールにおいて、第四十七回千葉市郷土芸能公演会が開催されました。

千葉市郷土芸能保存協会及び千葉市文化連盟主催による公演会です。当神社の検見川神社神楽囃子連を含む下記の八団体が参加しお神楽・お囃子の各演目が発表されました。

お神楽・祭囃子 千葉市郷土芸能公演会 みつめようふるさとの郷土芸能

参加団体と演目

(順不同)

検見川神社神楽囃子連
老翁悪神祓の舞
貝塚大六天神社囃子連
天狐の舞 祭囃子
千葉神社神楽連
恵比寿の舞 大黒の舞
作草部神社神楽連
天狐の舞 祭囃子
稲毛浅間神社神楽連
山神鬼退治の舞
須佐之男命大蛇退治の舞
都町諏訪神社囃子会
祭囃子 道化舞
登渡神社登渡神楽囃子連
祭囃子 仁羽
浜野祭ばやし保存会
五囃子

きらびやかな衣裳に面、かつらをつけ、お囃子の笛、太鼓の演奏に合わせて優雅に舞

う神楽舞人の動き・所作は神話の世界を思いおこさせるもので、ユーモラスな道化舞も含めどれもこれもすばらしいものでした。

発表に先立ち各団体の紹介がありました。いづれの団体も時代の変遷によりさまざまな事情で伝承の途絶や一時的な休会を余儀なくされてきております。しかし地域の人達や、熱心な指導者の皆さんのご尽力で復興、再興し今日まで受け継がれています。

今回は例年に比べ子供達による祭囃子が多く発表されました。頭に鉢巻、ハッピ姿の小さな子供達がバチをもつて太鼓を上手に叩く様子は微笑ましいものです。

神楽やお囃子は神事やお祭りに欠かせない伝統芸能です。

各団体の皆さんの今後のさらなるご活躍を期待します。

心の和むひとときでした。



祭囃子の紹介

祭囃子は大囃子(屋台・切囃子)、昇殿、鎌倉四丁目、大囃子の五囃子が一連となって演奏されます。

楽器は横笛(篠笛) 一、鉦かね一、大太鼓(大胴又は大鳴り) 一、しめ太鼓(つけ太鼓) 二の計五個五人によって演奏されます。曲の中でも鎌倉は笛の腕の見せどころです。



東参道 枝垂桜

境内の桜 東参道